

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の 仕組みと日本の現状

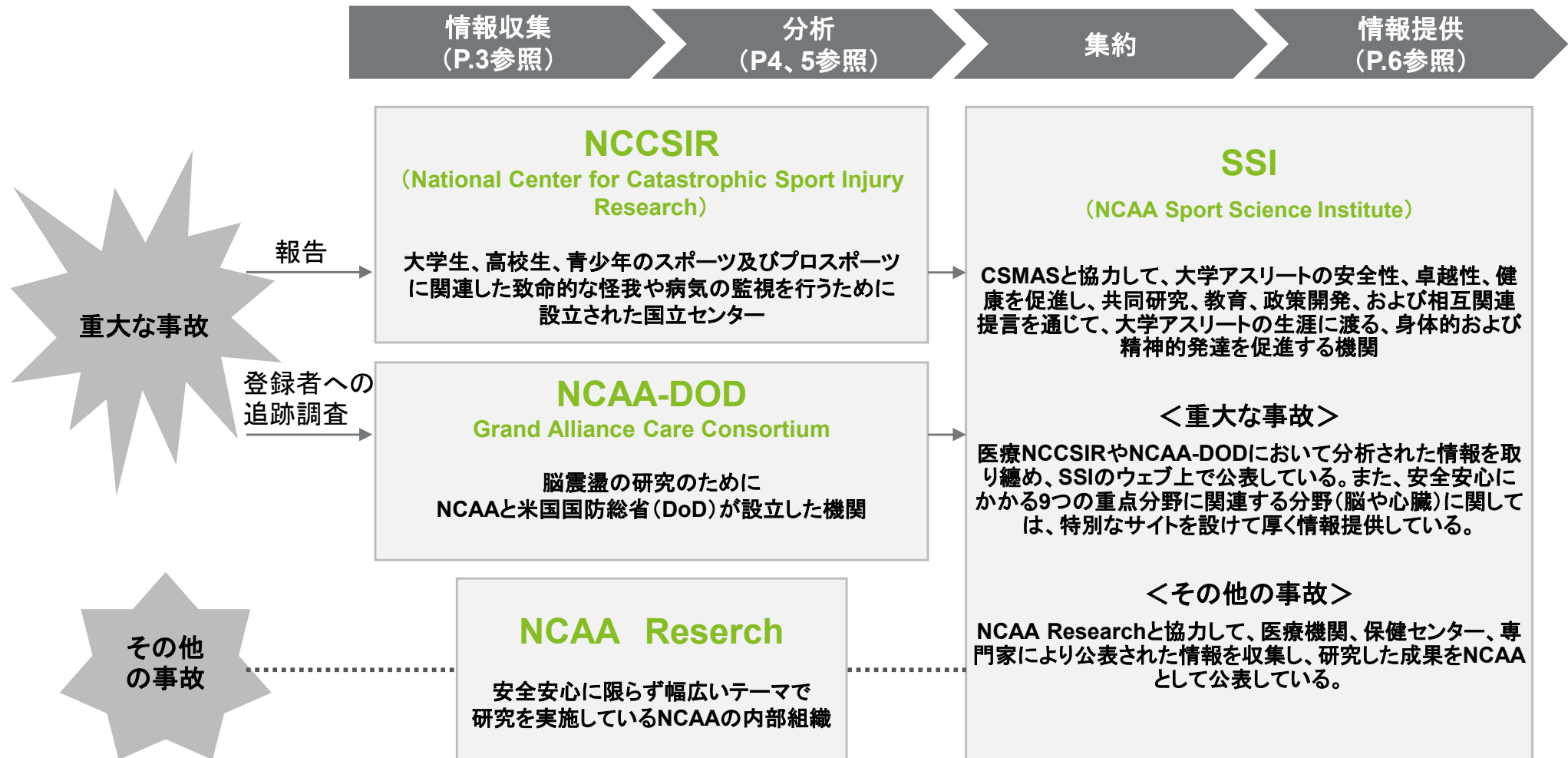
日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会  
第3回安全安心WG

2018年1月12日(金)9時～12時

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

重大な事故については、NCCSIRで傷害情報の収集を行っている。事故情報は Datalys Centerを中心に大学等と連携し分析を行っている。重大な事故以外の情報は、NCAA Reserchと協力し情報収集している。各種研究成果はSSIで取りまとめ、ウェブサイトで公開したり、各種ハンドブック、ベストプラクティスとして編纂・回付している。

## <米国NCAA>全体像



# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

重大な事故情報はNCCSIRの報告システム(NCCAのHPからアクセス)又は電話により行う。  
事故情報の報告は大学機関を代表して行うため、必要な知識と権限を持つ者により行うべきと考えられており、競技管理者、トレーナー、チームドクター、コンプライアンス管理者又はリスクマネージャーが該当することになる。

## <米国NCAA>重大事故に関する情報収集方法

The screenshot shows the NCAA website's 'Sport Science Institute' page. A red box highlights the 'Report a Catastrophic Injury' link. Below the link, it says: 'To report a catastrophic event through the online reporting tool, visit [www.sportinjuryreport.org/NCAARepor](http://www.sportinjuryreport.org/NCAARepor)'. Below that, it says: 'To report a catastrophic event by phone, call the National Center for Catastrophic Sport Injury Research at 919-843-8357.'

NCAAサイト  
からアクセス

The screenshot shows the NCCSIR website. A red box highlights the link 'Click here to Report a NCAA Catastrophic Injury'. The page title is 'NCAA Legislated Catastrophic Injury Reporting'. The text states: 'Effective August 1, 2014, NCAA institutions are required to report all catastrophic injuries sustained by student-athletes. This website has been established by the NCAA for the purpose of allowing NCAA members to meet this reporting requirement.' It also lists the types of injuries that must be reported, including deaths, near-fatalities, and catastrophic injuries to specific body parts.

Click

## NCCSIRへの報告フォーム

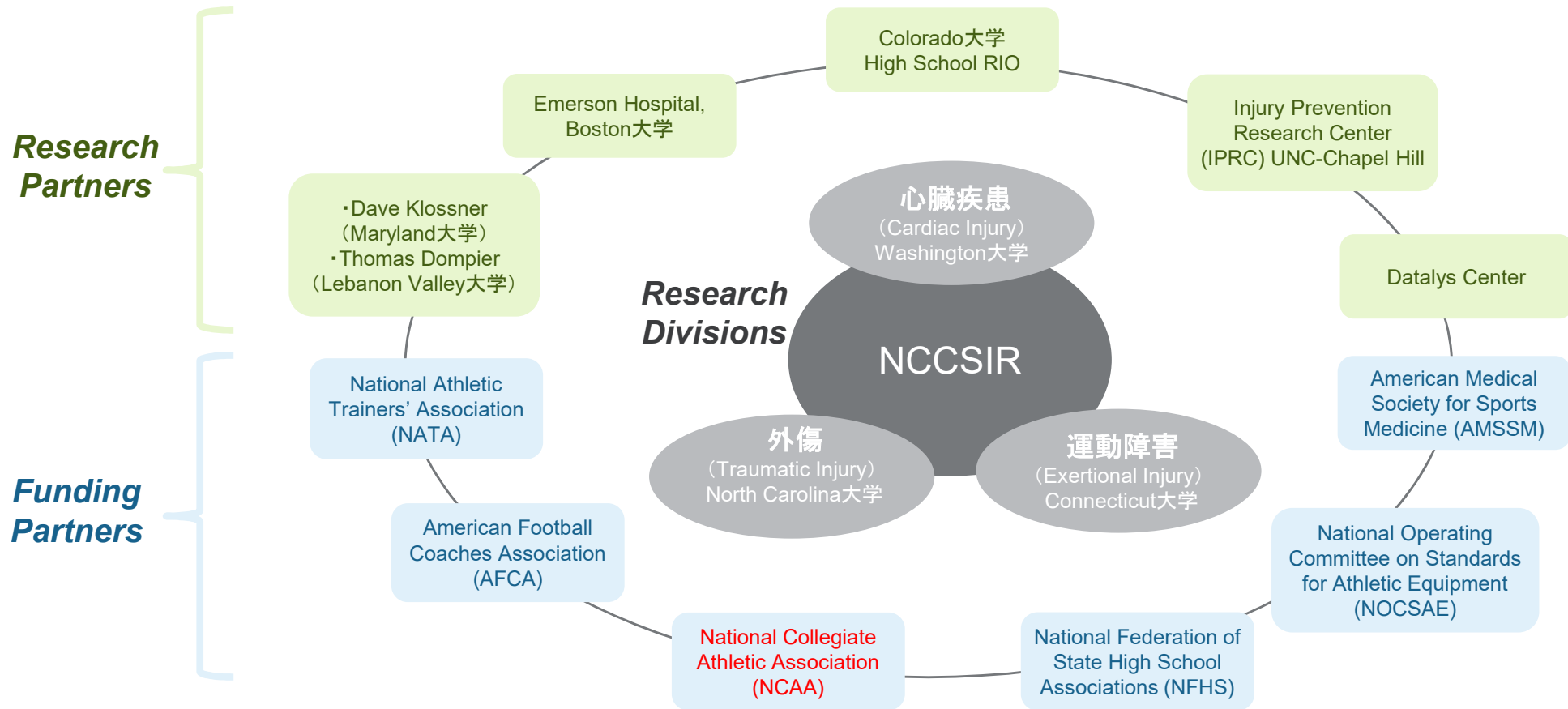
The screenshot shows the NCCSIR reporting form. A callout box on the right highlights the 'Injury Information' section, which includes fields for: 日付 (Date), 州 (State), 競技 (Sport), 競技レベル (1軍, 2軍) (Competition Level), シーズン (Season), 場所 (Location), イベント種別 (Event Type), 病状種別 (Injury Type), and 病状結果 (Injury Outcome). The form also includes sections for Reporter Information and Athlete Information.

重大な事故として報告する情報は以下の事項  
 1. 死亡事故  
 2. 以下の身体部分に関する事故 (頭、首、脊椎、心臓、肺、目)  
 3. 以下の条件の事故情報 (熱傷、鎌状赤血球症、心停止)

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

米国では、NCAAを含む各競技団体とコンソーシアムを組み、重大な事故に対する研究を行っている。情報の収集はNCCSIRで行っており、心臓疾患、外傷、運動障害を研究対象としている。

## <米国NCAA> 重大事故にかかる分析主体

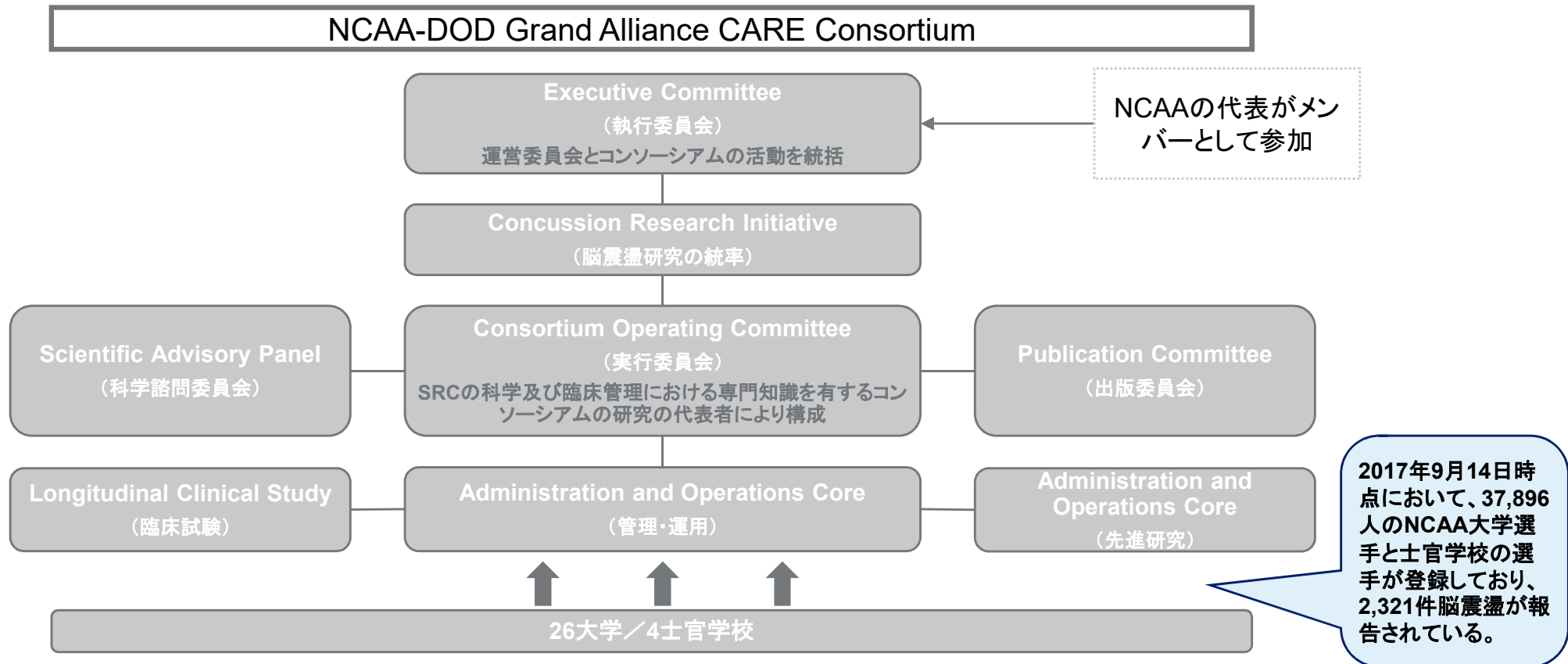


NCCSIRは、大学生、高校生、青少年のスポーツ及びプロスポーツにおける重大事故の予防、評価、管理、リハビリを改善するために設置された国立センターである。NCCSIRは、致命的な傷害および病気に苦しむ選手の横断的な調査を可能にするため、体系的なデータ報告システムを完備させたコンソーシアムを形成しており、症例ごとの追跡調査を実施している。

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

脳震盪の研究は、NCAAと米国国防総省(DoD)が共同して組成したNCAA-DOD Grand Alliance Care Consortiumで実施されている。

## ＜米国NCAA＞脳震盪にかかる分析主体



NCAA-DOD Grand Alliance CARE Consortiumは、全米大学体育協会(NCAA)と国防総省(DOD)が中心となって組成したコンソーシアムであり、性別および複数のスポーツを横断して、脳震盪の自然経過を研究する大規模で複数サイトによる研究の提供するものである。このコンソーシアムでは、ベストプラクティスのための国内および国際的なガイドラインに大きな影響を与えた研究をサポートしている。ここでは、コンソーシアムのメンバーだけでなく、コンソーシアム外部のコンテンツ固有の専門家で構成されているいくつかの委員会によってサポートされている。



# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

分析された情報、対応策をNCAAで取りまとめを行い、ハンドブック、チェックリスト、対処法の作成を実施している。NCAA以外の分析情報を用いることもあり、その場合には情報源を明らかにしている。

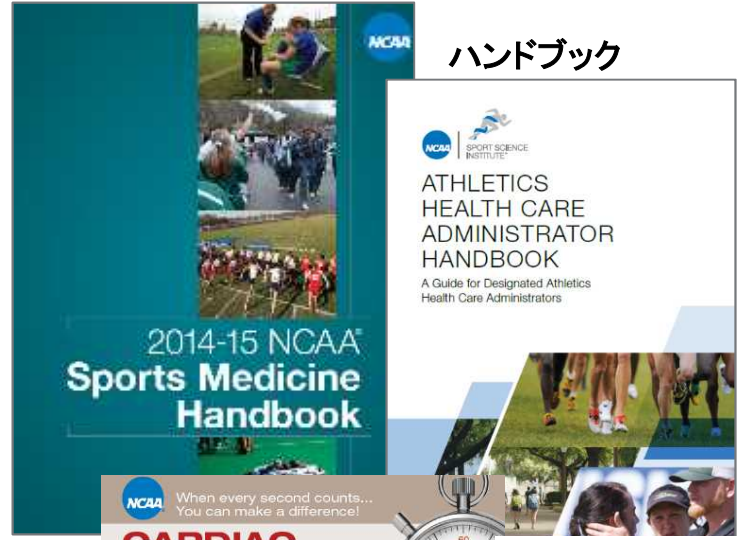
## ＜米国NCAA＞公開される情報(例示)

### SSIのウェブサイト

The screenshot shows the SSI website with a navigation bar and a main content area. The content is organized into several columns with blue headers and white backgrounds. Handwritten Japanese labels are overlaid on these categories:

- Cardiac Health** (心臓)
- Concussion** (脳震盪)
- Doping and Substance Abuse** (ドーピング/薬物乱用)
- Mental Health** (メンタルヘルス)
- Nutrition, Sleep and Performance** (栄養/睡眠/パフォーマンス)
- Overuse Injuries and Periodization** (選手の酷使とトレーニング計画)
- Sexual Assault and Interpersonal Violence** (性的暴力と対人暴力)
- Athletics Health Care Administration** (健康管理)
- Data-Driven Decisions** (データ主導の決断)
- Skin Safety** (日焼け対策)
- Key Publications** (重要な出版物)
- Sickle Cell Trait** (鎌状赤血球形質)

### ハンドブック



### ハンドブック

download

This block contains two main documents:

- CARDIAC 3-MINUTE DRILL:** An infographic with a stopwatch background, detailing steps for cardiac arrest response:
  1. Early recognition of sudden cardiac arrest
  2. Early access to 9-1-1
  3. Early CPR
  4. Early Defibrillation
  5. Early Advanced Care
- Cardiovascular Care Checklist of Best Practices for NCAA Member Institutions:** A checklist with a red header and a checkmark icon, listing various protocols for student-athletes and athletic health care.

### 心臓発作の対処法

### 脳震盪のチェックリスト

NCCSIRのpartnerロゴ

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

競技者へ保険を提供している機関は、支払い情報を整理して、統計的な分析を公表している。ただし、「大学スポーツ」専用の保険がないため、「大学スポーツ」のみの傾向を抜き出して、事故の傾向をつかむことは難しい。

## ＜日本＞保険機関における統計分析

保険機関	情報の性質	事故情報の収集方法	事故内容の分析(調査・研究)	予防につながる情報提供	研修、講習の有無*
日本国際教育支援協会 ＜学研災＞	大学生の、正課、学校行事、キャンパス内、課外活動、通学、学校施設等相互間の移動における事故 ※スポーツ事故に限らない	学研災の保険金請求書及び支払い事例(年間1.5万件以上)の分析(H23～H27)	学研災の保険金支払い事例の分析(H23～H27)	▶ 学生生活における事故の傾向について	▶ 学生教育研究災害傷害保険説明会
スポーツ安全協会 ＜スポーツ安全保険＞	スポーツ活動、文化活動、レクリエーション活動等を行う、4名以上のアマチュア団体・グループにおける事故 ※スポーツ事故に限らない	傷害保険の支払件数の分析	スポーツ安全協会要覧の中で、障害種別、障害部位別、種目別の支払件数の情報のみ開示	▶ ウェブサイトに予防対策の情報を掲載(例)脳震盪によるスポーツ現場の安全管理、バレーボール中のボール直撃による事故と安全対策、ラグビーでの頸髄損傷事故と責任等	該当なし
日本スポーツ振興センター ＜災害共済給付制度＞	義務教育諸学校、高等学校、高等専門学校、幼稚園、幼保連携型認定こども園、高等専修学校及び保育所等の管理下における災害 ※大学は含まない ※スポーツ事故に限らない	災害給付制度の中で、全国から報告される年間100万件以上の事件事例の分析	災害事例の統計データの分析(学校種別、都道府県別、障害等級別件数)及び実地調査	▶ スポーツ事故防止ハンドブック ▶ 体育活動における頭頸部外傷の傾向と事故防止の留意点 ▶ 熱中症予防のための啓発資料 ▶ 突然死予防必携 ▶ 各種映像DVD 等	▶ 学校における体育活動での事故防止対策推進事業 セミナー

\* ウェブ上で公開及び募集されている研修や講習の有無を確認

# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

各競技団体は、保険の機能を内包する団体を除き、網羅的な事故のデータは保有していない。他方で、対象とする競技の中で多発する事故に対しては、予防につながるガイダンスを提供している。

## <日本>各競技団体における統計分析

各競技団体	情報の性質	事故情報の収集方法	事故内容の分析(調査・研究)	予防につながる情報提供	研修、講習の有無*
日本サッカー協会	統計情報の収集は未実施	統計情報の収集は未実施	統計情報の調査・研究は未実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ FIFA医学評価研究センター／サッカー医学マニュアル(全271ページ)</li> <li>➢ メディカルインフォメーション(選手、指導者向け情報、メディカル関係者向け情報)19項目をウェブで開示(例) AEDを使用した救命例について、サッカーにおける脳振盪に対する指針、等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ サッカードクターセミナー</li> <li>➢ JFAアスレティックトレーナーセミナー</li> <li>➢ Jリーグチームドクター研修会</li> </ul>
日本アメリカンフットボール協会	統計情報の収集は未実施	統計情報の収集は未実施	統計情報の調査・研究は未実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 日本アメリカンフットボール協会の安全対策・脳振盪について</li> <li>➢ 頭部外傷10箇条の提言(日本臨床スポーツ医学会)</li> <li>➢ 夏の安全対策について</li> <li>➢ 熱中症再発防止提言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 日本アメリカンフットボール医科学研究会</li> </ul>
全日本柔道連盟	全日本柔道連盟に加盟している競技者及び指導者 ※大学に限らない	見舞金制度**に伴う、脳しんとうを含む頭部および頸部受傷、熱中症事故が発生した場合は、書面にて報告書を提出	「平成28年度重大事故・準ずる事故事例」、「平成27年度重大事故報告一覧」を公表	重大事故総合対策委員会が主導して、以下の安全指導の資料を作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 柔道の安全指導(ダイジェスト版、ビデオ版もあり)</li> <li>➢ 暑中稽古安全対策チェック表</li> <li>➢ 大外刈り段階的指導手順例</li> </ul>	該当なし

\*ウェブ上で公開及び募集されている研修や講習の有無を確認

\*\*全日本柔道連盟に登録されている競技者及び指導者は、自動的に1年間の障害補償、見舞金を受けることができる(保険料の支払い有)



# 米国NCAAにおける事故情報の収集・分析・活用の仕組みと日本の現状

保険機関、競技団体以外にも、さまざまな団体において、統計データを集めたり、また、予防につながる情報提供を実施している。

## ＜日本＞その他関係団体における分析

その他関係団体	情報の性質	事故情報の収集方法	事故内容の分析(調査・研究)	予防につながる情報提供	研修、講習の有無*
日本臨床スポーツ学会	統計情報の収集は未実施	統計情報の収集は未実施	統計情報の調査・研究は未実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 脳振盪の診断に対する提言</li> <li>➤ スポーツ現場へ：頭部外傷10ヶ条の提言</li> <li>➤ 骨・関節のランニング障害に対しての提言</li> </ul>	該当なし
日本体育協会	統計情報の収集は未実施	統計情報の収集は未実施	統計情報の調査・研究は未実施	医・科学ガイドブック <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ スポーツ外傷・障害予防ガイドブック</li> <li>➤ しっかり水分補給！元気に運動</li> <li>➤ スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック</li> <li>➤ 国体選手における医・科学サポートとガイドライン</li> </ul>	該当なし
全国大学生協共済生活協同組合連合会	24時間の学生生活において発生する事故(生命共済、賠償保険等) ※スポーツ事故に限らない	大学生協の保障制度における共済金・保険金の支払実績	支払実績のデータに基づき、病気の傾向、ケガの傾向、死亡の傾向等を分析(スポーツ事故においては競技別に分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大学生の病気・ケガ・事故(毎年発行)</li> </ul>	該当なし
全国脊髄損傷データベース研究会	全国の30の医療機関における19年間のデータを集計 ※スポーツ事故に限らない	医療機関における受傷者情報(4,899例)	労災病院における脊髄損傷疫学調査(受傷原因別、スポーツ種別、脊損高位別の受傷者の統計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 脊髄損傷の治療から社会復帰まで</li> </ul>	該当なし

\* ウェブ上で公開及び募集されている研修や講習の有無を確認